

各 位

上場会社名	株式会社 ナガワ
代表者	代表取締役社長 高橋 修
(コード番号)	9663)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 矢野 範行
(TEL)	048-648-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	1,900	2,000	1,030	62.97
今回発表予想(B)	21,500	1,250	1,350	600	36.68
増減額(B-A)	△500	△650	△650	△430	——
増減率(%)	△2.3	△34.2	△32.5	△41.7	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	20,712	2,358	2,454	1,346	82.54

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,990	1,960	2,080	1,130	69.08
今回発表予想(B)	21,490	1,460	1,580	800	48.91
増減額(B-A)	△500	△500	△500	△330	——
増減率(%)	△2.3	△25.5	△24.0	△29.2	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	20,718	2,190	2,310	1,531	93.82

修正の理由

(1)連結業績

米国に端を発した世界的金融危機は日本国内において信用収縮による不動産投資の低迷と企業の設備投資抑制を招き、建設業界に多大な影響を与えています。

このような状況下で当社グループは『ピンチはチャンス』の言葉どおり、主要なセグメントであるユニットハウス事業において同業他社が投資を控える中、積極的に貸与資産(ユニットハウス、建設機械、備品)を投入し、レンタルシェアの拡大を図るとともに、ユニットハウスが持つ『移動・増減床可能、短工期』の特性を活かした一般建築物の獲得に努めてまいりました。

また、平成21年1月には九州地区での展開を一気に加速するため、九州全域でユニットハウス・プレハブハウスの製造・販売・レンタルを行っている住重ナカミチハウス株式会社の事業を譲り受けました。

しかしながら、上述のとおり建設市場の収縮は当初想定以上に大きく、結果としてユニットハウス同業者間の競争激化を招き、単価の下落に拍車がかかりました。

この結果、売上高につきましては215億円と前回発表の予想を5億円下回る見込みです。

営業利益につきましては、ユニットハウスのレンタル価格の下落により粗利益率が悪化したこと、貸与資産の出荷増により備品など10万円未満の一括償却される小額資産投資が当初予定より大幅に増加したこと、貸与ハウスの高稼働により期後半から収益力の高い中古販売物件が減少したことなどから、前回発表の予想を6億5千万円下回る12億5千万円となる見込みです。

経常利益、当期純利益につきましては、営業利益と同様の理由に、それぞれ6億5千万円、4億3千万円下回る13億5千万円、6億円となる見込みです。

(2)個別業績

個別の業績修正の理由につきましては、上記連結業績で述べたものと同様の理由となります。

(3) 期末配当予想について

1株当たり23円の期末配当につきましては、変更の予定はありません。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点で入手利用可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、様々な不確定要因が内在しています。今後当社グループを取り巻く市場の経済情勢等により実際の業績は、上記記載の業績予想値と異なる可能性があります。

以 上